

Title	吐魯番出土文物研究会会報 第62号 : 特集・新疆文物Ⅱ
Author(s)	
Citation	吐魯番出土文物研究会会報. 62 p.1-p.6
Issue Date	1991-06-01
oaire:version	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/78873">https://doi.org/10.18910/78873</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

# 吐魯番出土文物研究会會報

1991年6月1日  
吐魯番出土文物研究会

第62号

特集 新疆文物Ⅱ

## 『新疆文物』総目(Ⅱ)

吐魯番出土文物研究会編

### 【はじめに】

新疆維吾爾自治区文化庁出版の『新疆文物』については、本誌第32号で特集しましたが(白須淨眞編著「『新疆文物』について」、「『新疆文物』総目」、および「吐魯番地区文物分布目録」と「吐魯番地区文物分布情況示意図」について)、当時実見できなかった同1987年第2期、ならびに続刊の1989年第3、4期、1990年第1～4期の七冊についても、その後情報を入手することができました。そこで、ここにこの七冊の目次を掲載することにしました。

体裁は前回と全く同様です。

★

★

★

★

#### ○1987年専刊(=1987年第2期・総第5期)

中華人民共和国国務院關於打擊盜掘和走私文物活動的通告……………	封二
緊急行動起來、打擊盜掘和走私文物活動、切實加強文物保護工作…新疆維吾爾自治区文化庁	1
關於貫徹国務院《通告》和文化部《通知》的通知……………新疆維吾爾自治区文化庁	4
《關於貫徹国務院〈關於打擊盜掘和走私文物活動的通告〉的通知》……………文化部	5
文化部召開貫徹落實国務院《關於打擊盜掘和走私文物活動的通告》的電話會議……………	8
關於貫徹文化部、公安部《關於切實加強文物安全防護工作的緊急通知》的通知……………新疆維吾爾自治区文化庁、公安厅	12
關於切實加強文物安全防護工作的緊急通知……………文化部、公安部	13
新疆維吾爾自治区人民政府召開緊急電話會議貫徹落實国務院“通告”精神……………	15
依法嚴厲打擊盜掘和走私文物犯罪活動……………《人民日報》評論員	21
必須認真貫徹《文物保護法》……………《光明日報》	22
呂濟民同志就貫徹国務院通告向《文物報》記者發表談話……………《文物報》	23
謝辰生同志就打擊文物走私活動答《文物工作》雜誌社記者問……………《文物工作》	24
新疆維吾爾自治区文化庁關於和田地区文物管理所文物被盜的通報……………	27

#### ○1989年第3期(総第14期)

高昌故城址……………	侯 燦 1
伊犁河谷土墩墓的發現和研究……………	張玉忠 11
裕民縣巴爾達庫爾山岩画……………	李 肖 23
三区革命烈士遇難四十周年祭……………新疆維吾爾自治区革命烈士伝編写組	28
古代新疆商業的發展及商人的活動……………	殷 晴 32

昌吉回族自治州文物普查資料·····	新疆維吾爾自治區文物普查辦公室 昌吉回族自治州文物普查隊	48
--------------------	---------------------------------	----

前言·····		48
一、早期文化遺址·····		49
二、唐至宋元時期遺存·····		60
三、墓葬·····		73
四、清代烽火台及驛站·····		82
五、岩畫·····		86
結語·····		97

附錄（折込）：昌吉州文物分布精況示意圖 昌吉州文物概況一覽表		
-----------------------------------	--	--

一種岩畫拓片技法介紹·····	徐永明	99
-----------------	-----	----

#### 【書訊】

《新疆文物志選稿》（第一輯）·····	《新疆文物志》編輯室	31
---------------------	------------	----

#### 【簡訊】

博州文化局發出關於文物保護工作的通報·····	辛 文	103
-------------------------	-----	-----

#### 【譯文】

新疆佉盧文書的語言·····	T·巴羅著／林梅村譯注	104
帕米爾塞人墓葬中的宗教信仰·····	[蘇] 李特文斯基著／馬蘇坤譯 李 琪校	108

### ○1989年第4期（總第15期）

吐魯番學家——李徵同志·····		1
交河故城、寺院及雅爾湖古墓發掘簡報·····	新疆首屆考古專業人員訓練班	2
和靜縣察吾乎溝二號墓地·····	新疆文物考古研究所 和靜縣文化館	12
“鄯善古墓被盜案”中部分文物之介紹·····	新疆文物考古研究所	34
十年來（1979—1989年）新疆文物考古工作取得的新成果·····	穆舜英	42
新疆地區青銅文化研究現狀述評·····	水 濤	60
試論西域石刻人像的起源及其相關問題·····	陳良偉	64
扎洪魯克二號墓兩具古尸的初步研究·····	邵興周 王 博	72
吐魯番出土文書語詞初探·····	廖名春	78
兩件回鶻文敕令識釋·····	楊富學	87
哈薩克草原塞種人的文化·····	蘇北海	94
四—六世紀高昌奉行年號再探·····	侯 燦	106
阿史那彌射與阿史那泥孰——答吳玉貴同志·····	薛宗正	118

#### 【文物鑒賞】

宣德爐點滴·····	吳勳雲	127
吐魯番和奇台出土的元龍泉盤與鈞瓷·····	譚旗光	129
青花貴宣德彩瓷貴成化·····	殷福蘭	130

#### 【文物工作動態二則】

中國石油天然氣總公司要求在塔北油氣勘探中加強文物保護工作·····	辛 文	131
巴州舉辦出土文物展覽·····	辛 文	134

#### 【資料與譯文】

有關鄯善王國與貴霜帝國的佉盧文書·····	[印度] B. N. 米克爾傑／朱 新 譯 胡錦洲校	132
-----------------------	----------------------------	-----

西域美術上的阿姆河流派·····	[日] 樋口隆康／叢 彦 識 鍾 銘 校	135
------------------	----------------------	-----

○1990年第1期（總第16期）

和靜縣察吾乎溝三號墓地發掘簡報·····	新疆文物考古研究所 和靜縣文化館	1
若羌縣“石頭城”勘查記錄·····	張 平	20
包孜東M41古墓顱骨的研究·····	邵興周 王靜蘭 崔 靜 王 博 常喜恩	23
新疆藏敦煌寫本《妙法蓮華經》、《維摩詰經》佚經殘卷·····	黃 健	32
《吐魯番出土文書》詞語校釈·····	張涌泉	42
博爾塔拉蒙古自治州文物普查資料·····	新疆維吾爾自治區文物普查辦公室 博爾塔拉蒙古自治州文物普查隊	62
前言·····		62
一、古墓群·····		62
二、石刻·····		80
三、古城遺址·····		88
四、卡倫、寺廟遺址·····		96
結語·····		98
附錄：博爾塔拉蒙古自治州文物分布示意圖·····		63
博爾塔拉蒙古自治州文物分布目錄·····		99
古代新疆農墾事業的發展·····	殷 晴	103
【文物簡訊二則】		
新疆自治區文化廳批准建立樓蘭文物保護站·····	辛 文	124
哈密地區文管所·李有松·阿不都熱合曼被評為全國文物安全保衛工作先進單位· 先進工作者、受到表彰·····	新 文	144
【資料與譯文】		
回鶻研究在台灣·····	劉 戈	125
庫木吐拉千佛洞之壁畫·····	[蘇] 尤·斯·胡佳科夫／李 琪 識	132
暑期文書的發現·····	A·斯坦因著／朱悅梅 識	136

○1990年第2期（總第17期）

伊犁地區文物普查報告·····	新疆維吾爾自治區文物普查辦公室 伊犁地區文物普查隊	1
前言·····		1
一、古墓葬·····		1
二、古遺址·····		26
三、石刻·····		41
四、古建築及現代重要遺迹·····		48
結語·····		52
附錄：伊犁地區文物分布圖（示意）·····		56
伊犁地區文物概況一覽表·····		57
一枚回鶻錢幣·····	蔣其祥	66
新疆博東發現的察合台汗國金幣初步研究·····	蔣其祥 李有松	71
乾隆新疆紅錢考·····	李 愷 麻 恒	81
和田海比布銀幣考釈·····	李吟屏	94
一枚突騎施蘇祿汗（716—737）錢幣·····	[法] 蒂埃里著／胡錦洲 識	96

突騎施錢幣的新類型·····	A·H·伯林斯坦著／薛宗正譯 陳繼周校	98
十七枚喀喇汗朝錢幣·····	[法] 蒂埃里著／胡錦洲譯	101
兩種新疆黑汗朝錢幣考 — 桃花石可汗與阿爾斯蘭汗錢幣·····	蔣其祥	103
“司禾府印”小考·····	平 一	111
紫檀木芸雕鑒賞·····	吳勳雲	113

#### 【簡訊三則】

自治區文物工作會議勝利召開·····	新 文	55
西北五省區商定聯合舉辦“中國絲綢之路2100年”活動·····	辛 文	112
蘇聯召開“斯基泰時代的阿爾泰”專題討論會 ····· [蘇] B·A·莫基利尼科夫著／吳妍春譯 陳萬儀校		116

### ○1990年第3期（總第18期）

吐魯番采坎古墓群清理簡報·····	吐魯番地區文管所	1
于田縣堅勒克遺址調查簡報·····	中國科學院塔克拉瑪干沙漠綜合科學考察隊考古組	8
富蘊縣喀拉布勒宮恐竜化石清理簡報·····	新疆博物館·新疆地礦局聯合調查組	14
托里縣瑪依勒山喀拉曲克牧場岩畫所反映的古代獵牧文明·····	蘇北海 張 岩	17
哈密焉不拉克墓葬的分期問題·····	王 博 覃大海	30
新疆洛浦縣山普拉古墓陶器的穆斯堡爾譜研究·····	馬建凱	38
繼業西域行記歷史地理研究·····	黃盛璋	42
新疆古代交通路線綜述·····	陳 戈	55
從祀部文書看高昌麹氏王朝時期的祆教及粟特九姓胡人·····	錢伯泉	93
敦煌文學《兒郎偉》輯錄校注 (P3552, P2569) ·····	黃 徵	102
清代新疆厄魯特宮之卡倫考·····	巴 赫	117

#### 【文物工作研究】

克孜爾石窟保護維修工程第一期1—2段述略·····	新疆文物保護維修辦公室	126
輔助陳列品在民族民俗展覽中的作用·····	杜根成	130
徵集新疆地區民族民俗文物的必要性和迫切性·····	安尼瓦爾·哈斯木	133

#### 【簡訊】

博爾塔拉蒙古自治州要求加強文物保護工作·····	辛 文	92
自治區人大教科文衛委提出實施《文物保護法》的情況和意見·····	辛 文	136
新疆出土泥俑（複製品）在北京展出·····	姚書文	137

#### 【譯文與資料】

鮑爾的信 — 敦煌學起源·····	[日] 太宰不二丸著／尚 林 周潤身譯	138
-------------------	---------------------	-----

### ○1990年第4期（總第19期）

塔克拉瑪干南緣調查·····	塔克拉瑪干沙漠綜考隊考古組	1
若羌縣古代文化遺存考察·····	塔克拉瑪干沙漠綜考隊考古組	2
阿爾金山細石器·····	塔克拉瑪干沙漠綜考隊考古組 阿爾金山自然保護區管理處	14
且末縣古代文化遺存考察·····	塔克拉瑪干沙漠綜考隊考古組	20
安迪爾遺址考察·····	塔克拉瑪干沙漠綜考隊考古組	30
墨玉縣扎瓦遺址·····	塔克拉瑪干沙漠綜考隊考古組	47
安得悅遺址·····	[英] 斯坦因著／胡錦洲譯	54
從且末到若羌·····	[英] 斯坦因著／肖小勇譯	76

烏魯木齊板房溝新發現的二批銅器……………	烏魯木齊市文管所	97
寺院經濟在高昌社会中的地位……………	吳 震	100
古代新疆的南北交通及經濟文化交流……………	殷 晴	111
月氏副王謝与迦膩色迦……………	陳世良	129
任尚碑与任尚……………	鄭渤海	137
吐魯番阿斯塔那出土的雕塑及制作工藝……………	姚書文	141

#### 【書評】

王炳華《吐魯番的古代文明》評介……………	黎 荔	145
侯燦著《高昌樓蘭研究論集》評介……………	伍遲駒 胡建平	148

#### 【文物鑑賞】

粉彩瓷受到辺疆各族人民之青睞……………	吳勳雲	151
淺談古代瓷器鑑定中的幾個問題……………	晏 莉	153
自治区博物館館藏的幾件清代玉器……………	劉翠蓮	156

#### 【文物工作研究】

談談電腦在博物館中的応用……………	孫 洁	157
做一個合格的講解員……………	瑪依努爾・吾甫爾	160

(以上)

— 〈ノート〉 —

## 高昌国の侍郎をめぐる諸研究(上)

關 尾 史 郎

### 【はじめに】

先に私は別稿において<sup>(1)</sup>、麹氏高昌国(五〇一～六四〇年。以下、表題も含めて高昌国と略記)における侍郎なる官職をとりあげ、その所属と職掌について墓塼や文書などの出土史料を検討した結果、この官職はあくまでも門下系の官職であって、通説で説かれているようなそれ以外、とりわけ尚書系の諸部に所属ないしは配属された侍郎の存在は認めがたいことを述べた。しかしそこでは紙幅の都合もあって、通説について逐一検討して私見を述べることはできなかった。したがってここでは、高昌国にあっては侍郎が門下系のみならず、尚書系の諸部にも所属ないしは配属されていたとする従来の見解の代表的なものを検討してみたい。この作業はまたおのずと、現在までの高昌国の官制史研究の到達点を見極めることにもなるであろう。

### 【わが国における諸研究について】

いうまでもなく、わが国におけるこの分野に関する研究の基礎は、故嶋崎昌氏によってうちたてられた。嶋崎氏は黄文弼氏の先駆的な研究<sup>(2)</sup>を批判しつつ、高昌国には所属と職掌を異にする三種類の侍郎があったことを指摘された<sup>(3)</sup>。すなわち嶋崎氏は、実役のない予備的な官員として侍郎が高昌国を通じて一貫して存在していた一方で、高昌国の末期(六一四〔義和元〕年頃)に官制改革が行なわれた結果、それまでは長史や司馬という名称だった尚書系の諸部の官員がそれぞれ郎中や侍郎と改名されたと考えられたのである。またこの改革によって、門下侍郎なる名称の官職も新設されたと推定された。このうち最後の門下侍郎については文書の釈読に一部誤りがあるようだが<sup>(4)</sup>、嶋崎氏が高昌国にも門下系の官員が存在していたこと、ならびにそのなかに侍郎が含まれていたことなどをいちはやく指摘された点は、その後の研究史との関連でみれば、まことにすぐれた着眼であったといえることができる。

一九七〇年代にはいり、新出の文物が続々と紹介されるようになると、高昌国の官制研究も急速に前進することになる。とくに故馬雍氏は上奏文書の通判の検討から、高昌国では門下系の官職が門下校郎－通事令史－侍郎（これこそ、嶋崎氏が予備的な官員とした侍郎である）という序列になっていたことを明らかにされたが<sup>(5)</sup>、この馬氏の所説を受けて、二種類の侍郎をそれぞれ尚書系の諸部と門下系の官員の序列のなかにはじめて位置づけたのが白須淨眞氏である<sup>(6)</sup>。尚書系の諸部の侍郎については、嶋崎氏の所説を支持して司馬が官制改革によって改称されたもの、また門下系のそれについては、馬氏と同じく門下校郎と通事令史の下位に位置すると考えた白須氏は、さらにいずれの侍郎とも、この国随一の名族ともいべき張氏にとっては出身階であったことも明らかにされた。

その後、荒川正晴氏が新出の文物を駆使して嶋崎氏の官制改革説を全面的に否定し、郎中も侍郎もこの国の成立当初から一貫して尚書系の諸部に配属されていたことを証明された<sup>(7)</sup>。これ以後も後述する侯燦氏のように嶋崎説を支持する論者もいるが、義和年間の官制改革を否定した荒川説は疑いなく承認されるべきである。ただしその一方で荒川氏は、高昌国における官職を単なる「官人の身分的列位」<sup>(8)</sup>としてとらえられたため、侍郎についても尚書系と門下系の別を過小評価するという結果に終わってしまっている。つまり荒川説においては、侍郎というのは（郎中、長史、司馬なども同じだが）単なる官人身分にすぎず、したがってそれだけではいかなる職掌をも有さないというふうに理解されているのである。このような理解を助けるような出土史料が存在していることはたしかだが、これではようやく嶋崎説を克服できた反面、門下系の官員の序列を明らかにした馬・白須両氏の達成から後退してしまうことにはなりはしないだろうか。

わが国における諸研究は以上のようにまとめることができよう。

（未完）

【註】

- （1） 關尾「高昌国の侍郎について－その所属と職掌の検討－」（『史林』第七四巻第五号、一九九一年、掲載予定）。
- （2） 黄文弼「高昌官制表」（黄烈編『黄文弼歴史考古論集』北京 文物出版社、一九八九年、所収〈初出は一九三一年〉）。ただし黄氏自身は侍郎なる官職の存在を認めてはいるものの、官制表中には明記していない。
- （3） 嶋崎昌「麹氏高昌国官制考」（同氏『隋唐時代の東トルキスタン研究－高昌國史研究を中心として－』東京大学出版会、一九七七年、所収〈初出は一九六三年〉）。
- （4） その根拠は、大谷二四〇六号（嶋崎氏が二四〇一号としているのは誤り）文書の「行門下事侍郎臣麹」という文言にあるようだが、これは侍郎が門下系に所属していることを示唆している、それが「門下侍郎」という名称だったことまでも示しているわけではなく、むしろ単に「侍郎」というのが少なくとも一般的な名称だったことを物語っていよう。なお『大谷文書集成』第一巻は、あたかも「行門下事郎」なる官職があったかのように理解しているようだが（同、一三九頁）、これについては、本誌第五号、四頁、参照。
- （5） 馬雍「略談有關高昌史的幾件新出土文書」（同氏『西域史地文物叢考』北京 文物出版社、一九九〇年、所収〈初出は一九七二年〉）。
- （6） 白須淨眞「高昌門閥社会の研究－張氏を通じてみたその構造の一端－」（『史学雑誌』第八八編第一号、一九七九年）。
- （7） 荒川正晴「麹氏高昌国の官制について」（『史観』第一〇九冊、一九八三年）。
- （8） 同上、三五頁。

事務局（連絡先） 〒182 東京都調布市国領町5-19-14

荒川正晴方

TEL 0424(81)4633

吐魯番出土文物研究会 (The Research Society for Turfan Relics)